様式G-1

一般共同研究（若手/一般）申請書

　　年　　月　　日

　　　東京大学地震研究所長　殿

〔代表者〕

職名

所属機関・部局名

住所 〒

電話

FAX

E-mail

下記のとおり共同研究への実施について申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 研究課題概要 | ※100字～150字で研究内容の概要を以下にご記入ください。 |
| 若手研究者申告 | 研究代表者が、研究開始年度の4月1日現在、39歳以下、または博士の学位取得後8年未満の研究者の場合は、右記チェックボックスにチェックしてください。  上記要件に合致しており、若手研究者であることを申告します　　　　　　  （次世代の研究者人材育成とキャリア形成支援を目的とし、若手研究者であることを考慮した審査を行います。） |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究計画  ※使用する文字は10ptとし、枠は適宜拡張し、2頁以内で枠の中に納めてください。  ※なお、様式中の注意事項については、削除いただいてかまいません。 | （１）研究目的と意義  （過去に地震研究所共同利用で関連する課題が採択されている場合は、前回採択課題との相違点を明記してください。）  （２）研究方法  （本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、についても具体的かつ明確に記述してください。また、調査・研究対象地がある場合にはその選定理由も記述してください。）  （３）主な研究成果（予定含む）  （従来の研究成果、または関連した研究のこれまでの成果について、具体的に記述してください。特に過去に地震研究所共同利用に関連課題が採択されている場合は、採択年または課題番号と、課題名を記載してください。また、その研究成果（今後の発表予定含む）のうち、特に査読つき国際学術誌（地震研への謝辞有）への投稿がある場合は、必ず明記してください。また、過去に地震研究所共同利用に採択された研究が発展し、外部資金獲得に繋がった場合には、その概要について、記載してください。）  （４）地震研究所の施設・装置・データ等の利用  （公募通知別表共同利用コード及び名称に該当があれば、共同利用コードを記入ください。）  （５）経費の使用目的  (他からの経費がある場合は本経費との関係についても記載してください。申請額が50万円を超える場合はその理由を記載してください。) |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究組織  ※枠は適宜拡張してください。 | 氏名 | | 所属機関 | | | | 職名 | | |
| （代表者）  （地震研究所担当教員） | |  | | | |  | | |
| 必要経費  (千円)  ※備品の購入はできません。 | 共同研究費（消耗品・役務・謝金等） | | | | 旅費 | | | | |
| 事項 | 数量 | | 金額 | 経路 | 日数 | | 人数 | 金額 |
|  |  | |  |  |  | |  |  |
| 合計 | 千円 | | | | 千円 | | | | |
| 総計 | 千円 | | | | | | | | |

※本共同研究の助成を受けた研究成果を論文等に発表する際には、東京大学地震研究所共同利用により助成を受けた旨の謝辞記載と別刷などの提出を必ずお願いいたします。

（記載例：課題番号｢2022-G-01｣）

【英文】：下のいずれか

・This study was supported by ERI JURP 2022-G-01 in Earthquake Research Institute, the University of Tokyo.

・This study was funded by Earthquake Res.Inst., the University of Tokyo, Joint Research program 2022-G-01.

【和文】：本研究は東京大学地震研究所共同利用(2022-G-01)の援助をうけました。

※大学院進学予定の学部生は大学院を記載し、職名に進学予定と追記してください。

　（例：大学院生（進学予定））